令和7年佐久市議会第4回定例会 一般質問通告書

質問 順位	質	₽ F	引	者	質	問	要	11日
1	小	林	松	子	(でででですでくれば、でででいるのでは、ですると、でででいる。 では、でででいるでは、でででは、でででは、でででは、でででででででででででででで	市れう無給せ残の善共共、てれめのマアのく要々予はどてたる策のはる考償食るす交に交交何いなにニンプ支っでク算、うい主止事立いでるも科 政い」変状実の運りかをのな一ど業過要でをすはのでセ 策てかにわ況態 よ 転ゴ ら で不い利の圧 疎 望、 実 年すはのできかしている。 うたい うでるもみ ないにも の で不い利の圧 疎 望、 実 年 すはのできかいにも う 免ン の き十か用く迫 地 や 魅 施 度	かいなタ つ いたつ把 な 許の 予 な分 助らで 域 意 力 す もかいいな タ つ い すのが握 取 取台 約 いさ 成いは 持 見 あ る の の 果 に下 、て を へを つ 補 業要く 的 つ 地 と が 不 の変 1い し の増 い 完 をか支 発 い 域 が 基 の変 1 を か ま ま で ま で で ま で で を で ま で ま で で を か ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で
2	竹	花み	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	き	(1) 糸洲の ア 整例 来訪な イ 学村	豪学習環境整備 の場整備後の状 情後の維持管理 犬況について 交現場や市民が をどう創出して	、 記記について 型の状況や、糸 が、糸洲の壕に	洲の壕への

質問順位	質 問	者	質	問	要	旦
			いて 2 佐久 久 (1) アイウ ウい看 (2) アイ 第 第 第 第 (1) 事ア	の場合 学の存続に高端 学の存続の 一次 で 一次 学の存 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	トて 対育機関の存続 判断に至った 言学会の佐久 推薦する 大材修要につい 可度概で 可度がで ででででで ででででする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	たについて 経緯について 関由について 関わりにつ 事業について で で で で 手度)の計画 事業について
3	小林歳	春	(1)高瀬((2) 現在 (2) ア より イ ウ 人計 (3) ア 手話推進 (1) 意 (1) ア まま (1) ア まま (1) ア まま (1) ア まま (1) ア まま (2) ア	育園の公共でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	で 市の方針について で の 方針について の 方針について で の 指 定 に で で が ま で の ま で で の が で の が で の が で で で で で で で で で で	ついて ついて こいることに たのはなぜか 見模及び上限 。 こ 手話施策の更
4	城田	領	(1) 米 (1) ア イウ い今 (2) ア イ ウ 担 で の 担 に 2 副 (1)	物 質食て米米 の去早食用食つ「めた品 高脂のお 価パ 食年でを担をてめたよい。 に体格 上、 高のる上つ償 でよる がでする。 はは、 一、	はどの から から などの から から から でうり でうり でうり でうり でうり でうり でうり でうり	が響について でまるのかに いて 算価格差につ に食材仕入値 考えるのか 定久市単独で を後の費用負

質問順位	質	問 者	質	問	要	引田
			ア 「K	□遺跡の掲載に ゆめ・花・さく ゆめ・花・さく まで広げられる	し」への遺跡打し」の主な対	* 17 -
5	加藤	夕紀子	 (1) アイン (2) アイン (2) アイン (3) アイロン アイン (3) アイロン アイロン アイン (3) の鳥 (1) にアイン (4) の。 	売ける農作物に	いう現状にでは、	ついて ついて について で市の考え 世握について み、生ごみ 分別の背景 収集を増や め市民から 害への対策
6	小 松	みほ	(1) が、 (1) が、 (1) が、 (2) アイ学校に (2) アイ学校に (2) 学様に (3) アイ職の (1) アイ職の (1) アイトリート	する安全を を全き でする。 です。 でする。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。	目撃・出没状 ・出没状況に 基づく対応に いについて 体制について マニュアルの な取組につい にの地について 促進にでいて ・て ・で	ついて ついて 整備について て

質問 順位	質	艮	引	者	質	問	要	山口
					ア市	的安全性の観点 の考えについて 識醸成に向けた		こついて
7	内	藤	祐	子	(1)(2)(3)(4)(2)(2)(1)(2)(3)(4)(4)(7)	内市てどに地して隣状市に期年を久る年をべ正の内面でとに地して隣状市に期年を久る年をべ正りののに も関域た 市況老向計介ど市割間取きな期業け 庭るお害 村把福ての保評要に計崩は金向所る 庁通け児 (握祉 内険価介つ画しな額けに児 が達る支 小し計 容事す護いの、いはてお童 発を児援 諸て画 の業る認て検第がい保	活ラ数つ事のビ所 者え 援こ け発 出把童整 市い・ 検基か定 証別 ら動ン値い業受スへ でる ので る達 し握発備 ・る第 証金 者 は期 らのお標 にれ業市 入 況の 題援 児て支手 井 期 つ積 第 の画 考のけの つ事所の れ によ ヘセ 童い援引 沢 介 いみ 1 よの えおる内 いずに交 勇	「訳 で
8	栁	澤	大	治	(1)下水 ア 施 イ 令 ウ 施	を安心安全に運 道管理センター 設の稼働状況に 和元年東日本台 設の老朽化対策 の施設運営につ	-の施設状況に -ついて 風災害からの について	こついて

質問 順位	質	問	·	 質	問	要	刊日
			(1) (2) アイ	加入件数 解約防止 料金改 無料サ 放送内 下TTF 事業の	バルテレビに なに無後に では では では では でで でで でで でで で で で で で で で	で について いて こついて き最終年度を近 こついて	<u> </u>
9	高橋	良	が (1) ア (2) ア イ 2 E (1) 杉 ア 3 山 (1)	米・・食、い・い田廃に、つ岳環・価お佐品現る食で地校つ旧い観八現課高米久高在の材・域後い田で光ヶ在題騰券市騰のか費・ののでに、日の認	(特定)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)<!--</td--><td></td><td>がで 維持について 対応について 対応にできて の改定につ いない小学 は跡の整備に</td>		がで 維持について 対応について 対応にできて の改定につ いない小学 は跡の整備に
10	武石	昌 宏	(1) (2) (2) ア イ (1) ア	現たこ期今住イ要区た大計なれ計後民ン望要危木出土	「の総 に で の い で の で の で の で の で の で の で で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で れ へ に の で れ へ の の の の の の の の の の の の の	・ 業費内訳につ 課題について	かいて ついて で寄せら 「向について
11	三 石	さとし	目指 (1) ア	もして 子育て世 望月支 ベビーチ	t代が利用し で所のおむつ エアの設置 で替えや授乳	「いトイレ等の 、やすいトイレ 」替えスペース 【状況について 」室があること	等の充実を、や授乳室、

質問 順位	質	F	引	者	質	問	要	当日
					1	トウト 室 後月明めると電話している。 著利ににどのレ へ の一鎖閉かしへ営内者いよがあ 声可用用たどジ 室 ヤク等時 支よ容ののこに 利臼 は能可可ちも教 後 レーの等 援りの見理と考用田 反な能能のた室 の ンル居の 制良見直解がえ	ア して は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	トイレの状 こかでは、 こからない。 このかいでであいます。 一下であいます。 一下であいます。 一下であいます。 一下であいます。 一下であいます。 一下である。 一下である。 一下である。 一下である。 一下である。 一下である。 一下である。 一下である。 一下である。 一下である。 一下である。 でである。 一下である。 でである。 一下である。 でである。 一下である。 でである。 でである。 一下である。 ででする。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででな。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででな。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でです。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででする。 でである。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 ででる。 でででしで。 でででしで。 でででし。 でででしる。 でででし。 ででででででででし。 でででし
12	小	林	英	朗	について (1) 大スは アイス芸術 (2) アイタ ウ 実育 2 佐久 について	プロモーション 出場激励金について会別の 所文化振興激励 所文化振興激励 一ツ全国について 立の経準について 対基について で通事故発生の で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ついて 景激励金について 団場交付金について で ・ジ入口交差点	って ついて 京 の 事故防止
13	鷹	野	裕	田	(1) 佐久元 (2) 景観』 の指定に ア 指定 イ 指定 イ 指定 イ 指定 イ 1)信号 いて 3 インフル	の景観育成につ 市の景観育成につ 東要とは物、 をででででででででででででででででででででででででででででででででででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でできる。 でできる。 ででできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 できる。	はどのように行 最重要樹木が いて こついて 骨な交通の実 野 等による渋滞等	をび景観資産 見について 等の解消につ

質問 順位	質	₽ 		者	質	問	要	目
14	7 高	柳	博	行	1佐久事(1) る(2) のアイウエ(2) のアイウエ(3)(3)(3)	文中央図書館建 中央図書館建 前計止め が大きに が大きに が大きに では では では では では では では では では では	替再整備基本	構想について 、結果に対す ・トを受けて の改善に取 三段について を手段の種類 音数及びテレ で
15	秋	Щ			1 佐久平 いて (1) 各会記 (2) 施電 (3) 児童 (3) 児童 (3) 児童 (4) 「通 (4) 「通 (5) 今後 (2) 円滑な[(1) い持続] (2) 持続] (1) 団員数(表間小学校の児 養体におけるが るが 大きなででででいる。 大きなでは、 大きなでも、 大きなでも、 大きなでも、 大きなでも、 大きなでも、 大きなでも、 大きなでも、 大きなでも、 大きなでも、 たっと、 たっと、 たっと、 たっと、 たっと、 たっと、 たっと、 たっと	登数の増加へ 計の進捗状況 で で で で で で で で で で で で で	記について って †について こついて こついて 1 日時点) の
16	四	登	夏	希	(1) 自伐 (2) 自伐 2 子育で「 (1) 保育 いて (2) コッ ア 佐ク イ 導 (3) 病児化 ア オン	能な里山づくり 型林業に対する 型林業に対する 三係る負担の軽 園の基礎情報の 人市内はでの 人に向けたでの ステインでの以外 ステインの対象の 学生への対象の	市の認識について 補助について 対通フォーマン におけるコッ で におけるコッ で が考え が登録につい の受診	アット化につトの導入状況

質問 順位	質	ħ	明	者	質	問	要	IJ 国
						合った検診の右 独自に実施して	–	
17	渡	辺	_	夫	(1) 佐久で 識につい (2) 危機 (3) 庁内で 2 物価 高い (1) 市民 (1) アートで イーニュー (2) 物価で アークいて アークに	災力向上のため 市の自然災害リ いて 管理課の主要業 連携体制の強化 騰について 生活への影響に 生活を活にの市の取 高騰対応重点支 付金の状況につい の対応に	スクと重点が 養務について と職員の専門 こついて 影響の現状認 対組状況につい で援地方創生器 で後の見通しに	強化分野の認 門性について 認識について いて 高時交付金に
18	塩	JII	浩	志	(1)相談 ア 「	・子育て支援物 支援の フンスの連携につい 一人で 一人で 一人で 一人で 一人で 一人で 一人で 一人で 一人で 一人で	こついて の考え方について なげる基準の で連携につい 望月センター 関題について 意見交換のお ひいて な要性について	ついて 設定について って -への統合に 代況について
19	渡	辺	康	徳	(1)包括 (2)身寄 2 災害用 (1)災害 ア 市っ いて	支援体制につい 的支援体制づく りのない方等に 移動設置型トイ 用トイレについ が備蓄する災害 専用移動設置型	りの現状・追 に対する市の取 レの導入にこ いて 手用トイレの種	対組についていて重類と数につ
20	荒	井 か	ずと	: L	(1)望月 ア 調 イ 調 (2)店舗 ア 市 組や (3)既存	空き店舗等の活地域の空き店舗 をの進捗状況に を結果を利用者 の新規出店の低 は店舗の新規出 支援をしている あ店街の駐車場 によって新たに	事等の実態調査 こついて にどのように と進について は店についてと か 場不足対策につ	周知するのか ごのような取 Oいて

質問 順位	質	問	者	質	問	要	1 I I
				(1)公園の ア 洋目 ア 多後 (2)コスいト に ア トイ 3 自動車の ついて	トイレについ 化について 的トイレについ の整備につい ホール、佐久 レの現状につ 第二種運転気)いて)て 、平交流センタ	一のトイレ

12月 4日(木) 10:00から 1番~ 6番 12月 5日(金) 9:00から 7番~13番 12月 8日(月) 9:00から 14番~20番